

# 宮古島市新里「新里自治会」

集落  
部門

## 自然と伝統文化が育むふるさとづくり (平成20年度認定)



宮古島市新里は、宮古島本島の南部に位置し、土地改良事業により農地の基盤整備が進んだ農地に囲まれた集落で、サトウキビを中心に野菜・葉たばこ・熱帯果樹を生産する農村集落である。

旧暦6月つちの日に行われる豊年祭は、獅子舞・棒振り・巻踊り・ひきおどり・綱引きなどで構成されており、集落をあげて取り組む象徴すべき行事で、1771年「明和の大津波」によって壊滅的な打撃を受けた集落が、現在の位置に新たな集落を建てた際に始めたとされる説がある、集落の深い思いと歴史ある行事である。

また、宮古島市の天然記念物に指定されているツマグロゼミの生殖地で、集落内に増殖施設を整備して保護・増殖に取り組み、子ども会・青年会を中心に生態研究を行うなど、地域教育にもつなげる自然環境の保護活動を地域ぐるみで行っている。

